

## 川崎港の利用促進等のため市長がタイ、ベトナムを訪問します

川崎市長が、川崎港の利用促進、日本での就労を目指す外国人材の状況を把握するため、タイ王国、ベトナム社会主義共和国を訪問します。

タイ王国では、バンコク及びその周辺地域を訪れ昨年4月に川崎港に開設されたタイ航路の利用促進に向けて、タイ現地の荷主等へのポートセールスを行います。

ベトナム社会主義共和国では、ダナンで人民委員会政府幹部との面会や友好港であるダナン港長への表敬訪問を行い、ホーチミンでは、日本に就労目的で在留するベトナム人が増加していることを踏まえ、現地での人材育成等の状況を把握するために関係施設の視察を行います。

### 1 訪問者

川崎市長 福田 紀彦 ほか本市職員3名

### 2 行程

日付	行程	訪問地
7月11日(木)	羽田空港発→スワンナプーム国際空港着	バンコク 周辺地域
7月12日(金)	ニチレイフーズ タイ食品加工工場 ヒアリング及び視察 レムチャバン港 視察	
7月13日(土)	富士通ゼネラル タイ工場 ヒアリング及び視察 ニチレイロジグループ タイ冷蔵保管倉庫 視察	
7月14日(日)	スワンナプーム国際空港発→ダナン国際空港着	ダナン
7月15日(月)	QUANG HIEU FOODS 訪問 ダナン港長との面談 ティエンサターミナル訪問 ダナン市人民委員会 表敬訪問	
7月16日(火)	ダナン国際空港発→タンソンニャット国際空港着 ドンズー日本語学校視察	
7月17日(水)	SULECO 視察 Esuhai 視察 越日工業大学視察 タンソンニャット国際空港発	ホーチミン
7月18日(木)	成田空港着	—

(バンコク及びダナン訪問について)

川崎市港湾局誘致振興課

担当:安藤 電話:044-200-3072

(ホーチミン訪問について)

川崎市経済労働局国際経済推進室

担当:岩間 電話:044-200-2314

## 各訪問先の概要について

### 1 バンコク周辺地域

官民一体で構成する「川崎港戦略港湾協議会」によるポートセールス活動に加えて、東扇島の冷蔵冷凍倉庫群を利用する荷主等の強い要望により、昨年4月、川崎港とタイのレムチャバン港などを結ぶコンテナ定期航路が初めて開設した。

現在、航路開設から約1年が経過し、同航路を利用する荷主は一定水準確保できたところであるが、同航路の維持・安定化のためには、さらに多くの荷主の積極的な利用が不可欠である。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を来年に控え、首都圏を中心とする物流の混乱が懸念されるなか、コンテナのスムーズな搬出入が可能なターミナルとして川崎港が注目されている状況にある。

これらのことから、荷主等の関係者に対して川崎港コンテナターミナルの利便性を知ってもらうことを良い機会と捉え、航路開設後約1年を経たこの時期に、タイ現地の荷主等に対してポートセールスを行い、同航路の利用を促進することを目的に訪問する。

#### (1) ニチレイグループ タイ食品加工工場及びタイ冷蔵保管倉庫

ニチレイフーズは中国・東南アジアから川崎港へ輸入される貨物などを東扇島総合物流拠点地区に立地するニチレイロジグループの倉庫に保管している。また、タイ航路の開設以来、タイから輸入する貨物の一部で川崎港を利用しており、同航路における主要荷主である。さらなるタイ航路の利用促進のため、同社幹部と面会しポートセールスを行うため、同社を訪問する。

#### (2) レムチャバン港

今後の川崎港コンテナターミナルの経営戦略立案のため、世界第20位のコンテナ貨物取扱量があるレムチャバン港を視察する。

※レムチャバン港のコンテナ貨物取扱量 778万TEU(2017年)

(参考)2017年国内コンテナ貨物取扱量 第1位:東京港 505万TEU、第2位:横浜港 293万TEU

#### (3) 富士通ゼネラル タイ工場

川崎市高津区に本社を置く市内企業であり、タイにエアコンの生産拠点を構えている。タイ航路が開設し、タイと川崎港が直接結ばれたため、川崎港の利便性をPRするとともに同航路の活用を提案するため同社を訪問する。

### 2 ダナン

川崎港とベトナム・ダナン港は平成6年に友好港提携に調印して以降、両港の発展に資する技術交流や貿易の促進に向けた意見交換等を継続的に行い、平成26年1月に20周年を迎えている。また、平成31年3月には、ダナン港と川崎港とを結ぶコンテナ定期航路の就航が初めて実現したところである。

近年、両港は隔年で代表団を派遣しており、一昨年度はダナン港代表団が本市を訪問し、川崎港の施策(物流施設誘致等)や両港の人材交流の推進について意見交換を交わした。また、昨年8月には本市代表団がダナン港を訪問し、東扇島物流拠点地区形成の考え方や港湾管理における人材育成等についての意見交換やダナン市周辺の荷主等を訪問して集荷に向けた情報収集を行ったところである。

今年、ダナン港では新たな港長が就任したが、友好港との更なる関係構築、及びダナン港との直行航路の就航による新規顧客の開拓を目的として、同港を訪問するものである。

#### **(1) QUANG HIEU FOODS**

株式会社オカフーズの現地協力企業である同社はダナン港から日本へ貨物を輸送し、その多くを東扇島地区の倉庫へ保管している。本年、ダナン航路が開設したことで川崎港を利用する可能性があることから、川崎港の利便性をPRするなどポートセールスを行うため同社を訪問する。

#### **(2) ダナン港長訪問**

#### **(3) ティエンサターミナル**

長年の友好港であるダナン港に新たな港長が就任し、また、ダナン港との更なる関係構築を図るため表敬訪問するとともに、ティエンサターミナルを視察する。

※ダナン港のコンテナ貨物取扱量 35万TEU(2017年)

#### **(4) ダナン市人民委員会**

今後の更なる交流や協力を探るため、ダナン港訪問の機会に人民委員会を表敬訪問する。

### **3 ホーチミン**

出入国管理法等の改正により、今後も我が国に在留する外国人が増加していくと考えられる中で、本市においても、国の総合的対応策を踏まえた多言語での生活相談の対応等、外国人の受入れ環境の整備に係る様々な分野における取組が求められている。

我が国で働く外国人労働者の国籍は、ベトナムが中国に次いで多く、対前年同期比増加率は最も高くなっている。(※)

こうした状況を踏まえ、ベトナムにおける人材育成等の状況を把握するために、以下の関係機関の視察を行うものである。

※平成30年10月末現在、厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ

#### **(1) ドンズー日本語学校**

日本への留学を目指す学生への日本語教育、受験勉強（日本語教科書での数学、物理、化学などの基礎知識取得）支援を行っている。

#### **(2) SULECO**

技能実習生送出機関。ホーチミン市内に日本の技能実習生を目指す学生用の専門学校を運営している。

技能実習生の一般監理事業を行う監理団体である「協同組合川崎中小企業労務協会」(幸区)と提携を行っている。

#### **(3) Esuhai**

ベトナム人材の教育・研修事業、技能実習生派遣事業、技術者・高度人材紹介等を行う。日本への人材派遣事業を専門に行っている。

#### **(4) 越日工業大学**

ホーチミン市技術大学により2015年に設立。ベトナムにおける高等教育の先駆的役割となることを目指している。

川崎商工会議所と2018年に人材交流等に関する協力協定を締結している。